

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年3月10日水曜日

ページの表示を画面サイズに応じて変更する

Oracle APEXのユニバーサル・テーマでは、画面の大きさを検出してコンポーネントの表示/非表示を切り替えるクラスが提供されています。

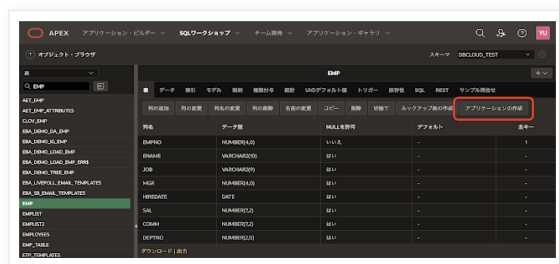
Responsive Utilitiesです。

https://apex.oracle.com/pls/apex/apex_pm/r/ut/responsive-utilities

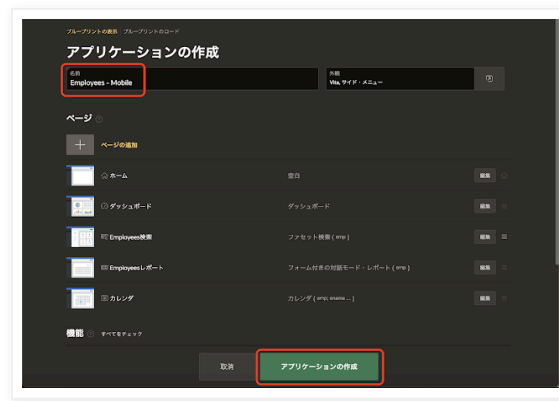
サンプル・データセットのEMP表から作成したアプリケーションを元にして、Responsive Utilitiesの働きを確認してみます。以下のような動きとなる設定を行います。



SQLワークショップのオブジェクト・ブラウザより表EMPを選択し、アプリケーションの作成を実行します。

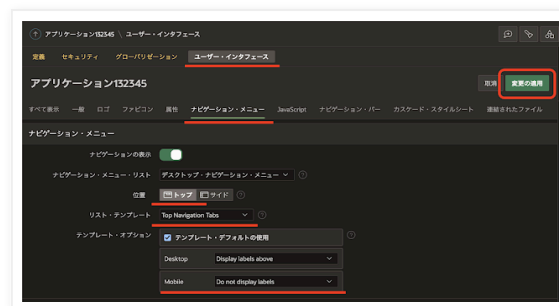


特別な設定はせずに、名前をEmployees - Mobileと設定してアプリケーションの作成を実行します。

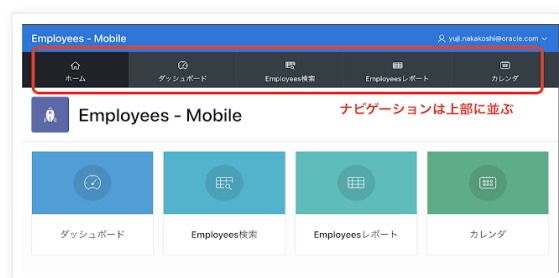


標準コンポーネントにも、画面の大きさに対応して表示形式が変わるコンポーネントがあります。そのコンポーネント、**ナビゲーション・メニュー**を最初に設定してみます。

アプリケーション定義の**ユーザー・インターフェース**を開きます。**ナビゲーション・メニュー**のセクションで、**位置**を**トップ**、**リスト・テンプレート**に**Top Navigation Tabs**、**テンプレート・オプション**の**Mobile**として**Do not display labels**を設定します。各種設定の後、**変更の適用**をクリックします。



アプリケーションを実行すると、画面の幅が広いときには、ナビゲーションが上部に並びます。



画面の幅が狭いときには、ナビゲーションがラベルなしで下部に並びます。

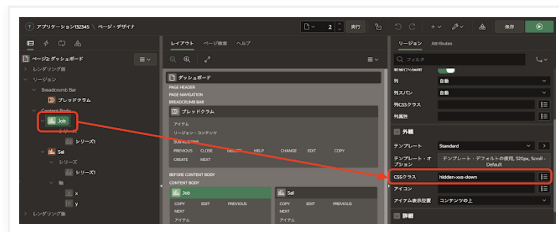


Responsive Utilitiesとして定義されているCSSクラスを使用すると、このナビゲーション・メニューのような実装を、自分で作成したコンポーネントに適用できます。

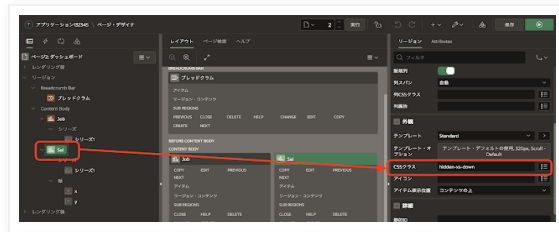
ダッシュボードを例にとります。Jobのチャートに**hidden-xs-down**を設定し、横幅が640px以上であれば表示させます。Salのチャートに**hidden-sm-down**を設定し、横幅が768px以上であれば表示させます。



リージョンJobの設定です。外観のCSSクラスにResponsive Utilitiesとして定義されているクラス**hidden-xs-down**を設定します。



リージョンSalの設定です。同様にhidden-xs-downを設定します。



アプリケーションを実行すると、最初のGIF動画にある動作を確認できます。

CSSによる切り替えなので、表示はされませんがリージョン自体は存在していてHTMLは生成されています。ですので、今回の例でいうと、チャートを生成するためのSQLの実行はサーバー側で行われています。

サーバー側の条件を使用して、デバイスごとに表示を切り替えるためには、PL/SQLのAPIである、**OWA_UTIL.GET_CGI_ENV**を呼び出します。**HTTP_USER_AGENT**(または**User-Agent**)を指定すると、HTTPヘッダーのUser-Agentを取得できるので、その情報を元にサーバー側の条件を設定します。

OWA_UTIL.GET_CGI_ENV('HTTP_USER_AGENT')

戻り値の例としては以下です。

macOS上のChromeからアクセスしています。

Mozilla/5.0 (Macintosh; Intel Mac OS X 11_2_2) AppleWebKit/537.36 (KHTML, like Gecko) Chrome/89.0.4389.82 Safari/537.36

iPhoneのSafariは以下でした。

Mozilla/5.0 (iPhone; CPU iPhone OS 14_4 like Mac OS X) AppleWebKit/605.1.15 (KHTML, like Gecko) Version/14.0.3 Mobile/15E148 Safari/604.1

iPadのSafariは以下でした。

Mozilla/5.0 (Macintosh; Intel Mac OS X 10_15_6) AppleWebKit/605.1.15 (KHTML, like Gecko) Version/14.0.3 Safari/605.1.15

サーバー側の条件で対応するのは、ある程度、使用デバイスを特定できないと難しいように思います。企業での利用であれば、使用デバイスを購買上の許可を与える/与えないである程度制限されていることが多いので、このような方法が有効かもしれません。

以上になります。

Oracle APEXのアプリケーション開発の一助になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 12:59

共有

<

ホーム

>

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.
